

(書式3)

全教科についての指導方法の課題分析と授業改善策

教科名	英語	教科主任	中山 信一
-----	----	------	-------

1. 指導方法の課題と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画

<第1学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">英語を聞いたり話したりすることについては興味をもって取り組むことができる。辞書を活用した語彙や文化に関する指導や読解では分からない語や表現があると先に進めなくなり、自分で調べようとする力が不足している。推測しながら読んだり聞いたりする指導を重ねることで、まとまりのある英語を理解する力を付ける必要がある。	<ul style="list-style-type: none">教科書本文を扱う際に、場面や人物の気持ちに焦点をあてた発問を行う。ピクチャーカードを用いたりスニングでまとまりのある英語を導入し、音読を繰り返すことで定着を図る。基本語彙と基本文のストックを増やす課題を与え、小テスト等でその定着を図る。グループを活用した説明活動で文法を理解・定着させる。	<ul style="list-style-type: none">夏季補充教室を実施し、学習事項の復習の機会を設ける。スピーチやALTとの1対1のスピーキングテストを学期に1回行い、英語を使ったコミュニケーションへの意欲を高める。定期考査後に「そっくりテスト」を行い、重要ポイントを繰り返し復習する時間を確保する。

<第2学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">初歩的な英語を使ってのコミュニケーション活動の取組には興味を示す生徒が多く、習得した単語、文法、知識を使って3~4文の英文を書くことができている。まとまった英語を聞いて内容を把握する力が備わっていないため、読解に関する質問への応答はできる生徒とできない生徒に二分化される。	<ul style="list-style-type: none">まとまった英文を読みこなすために聞くことから始め、続いて音読を繰り返すことによって、段階的に内容の理解をしていく学習形態を作っていく。英語を聞き取る力を高める方法として、ディクテーションやQ&Aを実施し、聞く力を養っていく。	<ul style="list-style-type: none">夏季補充教室を実施する。長期休業中に英文絵日記を作成し、発展的な表現を身に付けさせる。少人数の中で集中して英語を聞き取らせ、内容の理解を深めていく。ALTとの授業も少人数で行い、コミュニケーション活動、スキット作りを補充または発展として計画的に指導していく。

<第3学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
<ul style="list-style-type: none">ALTと積極的に関わろうとする生徒が多いが、英語を使ってのコミュニケーションに対して意欲が高いためと思われる。既習の基本的文法の知識を忘れていることがあり、長文読解や英語での表現に苦手意識をもつ生徒が多いため、英語に対しての興味・意欲・関心をもたせ、苦手意識を解消させる必要がある。	<ul style="list-style-type: none">既習の表現を繰り返し活動に取り入れる。英語で聞いたことを英語で書く、英語で書いたことを英語で読む、など4技能を統合した活動を取り入れる。短い文を読み大まかに文意を読み取ることに慣れさせ、徐々に文の量を増やして指導していく。	<ul style="list-style-type: none">夏季補充教室を5日間実施する。ここでは既習事項を段階に分けて復習させる。少人数授業の中で英語での活動を増やし、生徒が能動的に活動する機会を増やす。ALTとの授業も少人数で行い、スピーキングテストやプレゼンテーション発表、スキット作りを補充または発展として計画的に指導していく。

